

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園児童デイサービス運営事業			会計	款	項目	大	小	
				01	03	02	07	02	60
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	概ね2歳から就学前の幼児・児童で、成長や発達に心配がある児童及びその	意図	成長や発達に心配がある幼児・児童及びその保護者に対しての支援をとおして、幼児・児童の運動・ことば・社会性など、全体発達を促すと共に保護者の不安を和らげる。
事業内容	発達に遅れや心配がある幼児・児童に対して、日常生活における基本的動作の習得及び集団生活に適応出来るように、幼児・児童の身体並びに精神状態や生活環境に応じた通園日数の中で適切かつ、効果的な支援・訓練を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年10月1日に開所。平成24年4月からは、3歳未満の利用児は1年間母子通園を行っている。利用児数は、毎年増加傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	延べ利用人数	2,143	1,933	2,417	人	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童デイを利用している契約者数は、毎年増加傾向にある。幼稚園や保育所等と並行通園している園児が多くおり、幼稚園・保育所の行事等を優先するため、月平均の利用人数は75%程度になっており、利用率が低い。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		30,515,832	30,059,674	33,662,601			
事業費(b)(円)		8,277,832	8,203,674	12,308,375			
うち一般財源				△7,205,221			
職員給与費(c)(円)		22,238,000	21,856,000	21,354,226			
人役・職員(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・再任用(人)		2.00	2.00				
人役・臨職(人)				3.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	母子通園児・並行通園児などの利用園児行事のあり方を工夫する。事務改善としてパソコンを1台増やす。	③取り組みの課題	利用形態に伴い、児童デイ独自の行事作り及びつばさ学園とのバス利用の検証が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	児童デイ独自の通園形態に合わせたクラス運営及び行事作りについて工夫を行った。パソコンを1台増やした。	④今後の改善計画	利用児の増加に伴い、日数支援の有効活用及びクラス編成における支援の在り方の検証。また、並行通園している園児の幼稚園・保育所等との連携を更に密にしていく必要がある。